

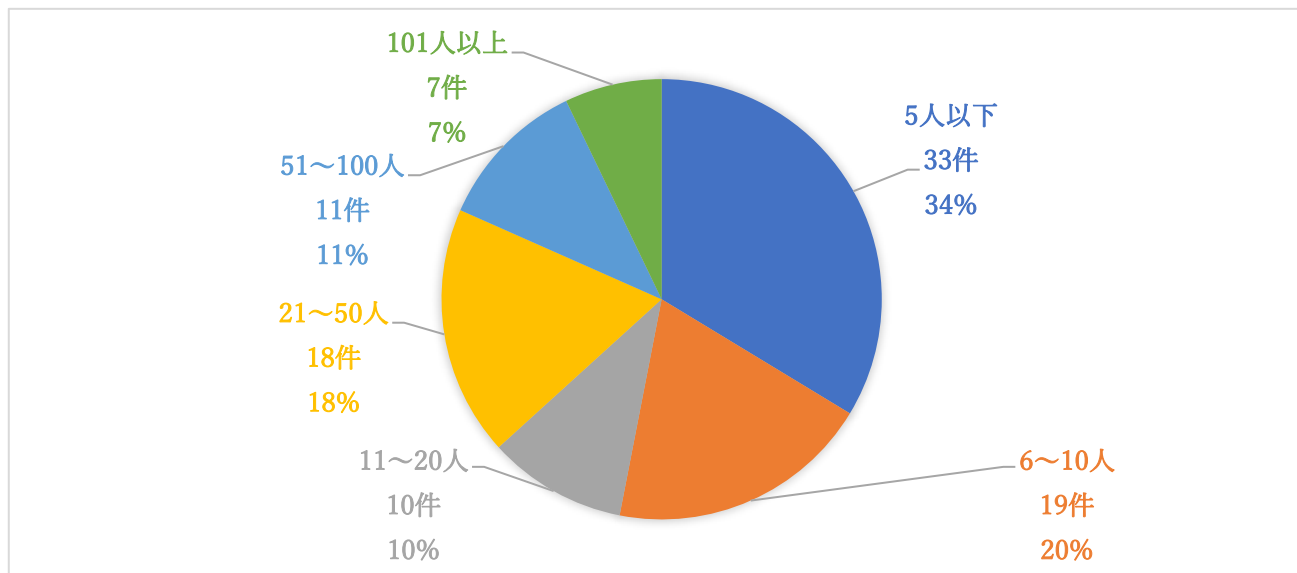
「大館市経済動向調査」（2026 年 8 月度調査回答結果）

【項目別グラフ】

【円グラフデータラベルの見方】

5人以下	上部：項目内容
46件	中部：回答件数
40%	下部：回答割合

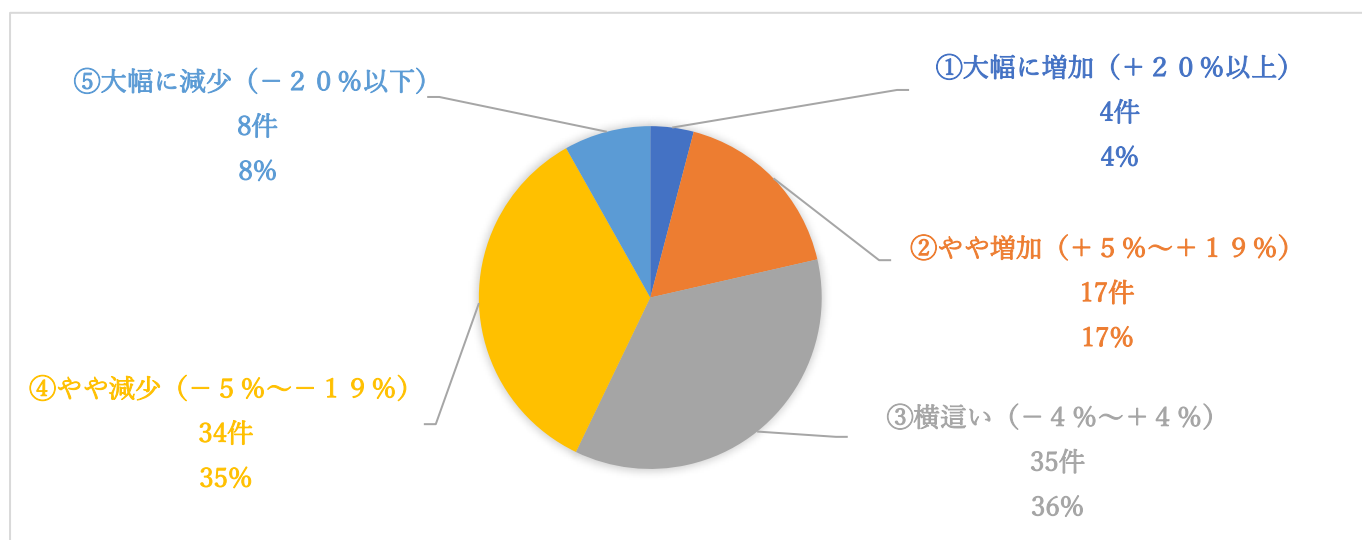
従業員数別回答件数



＜経営状況について＞

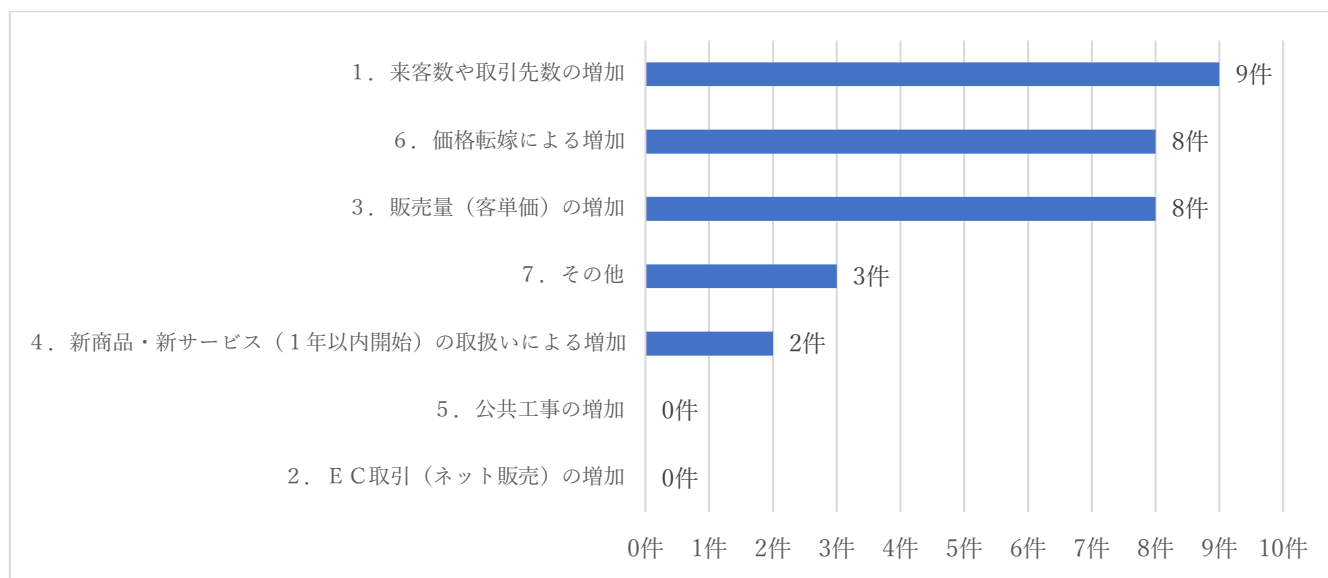
Q 1 令和8年8月の売上は、前年同月比でどのようにになりましたか、該当する番号をお選びください。

1. 大幅に増加（＋20％以上）
2. やや増加（＋5％～＋19％）
3. 横這い（－4％～＋4％）
4. やや減少（－5％～－19％）
5. 大幅に減少（－20％以下）



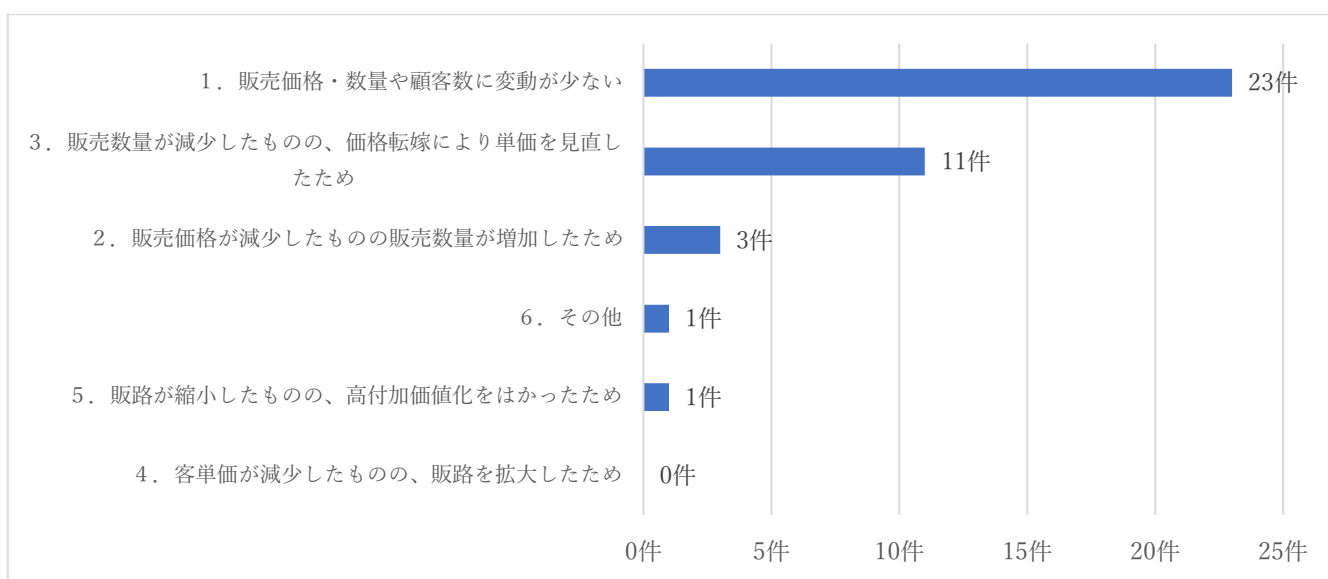
Q2 【Q1で「1」～「2」と回答した方へ】売上が増加した要因について、該当する番号をすべてお選びください。【複数回答可】

1. 来客数や取引先数の増加
2. E C取引（ネット販売）の増加
3. 販売量（客単価）の増加
4. 新商品・新サービス（1年以内開始）の取扱いによる増加
5. 公共工事の増加
6. 価格転嫁による増加
7. その他



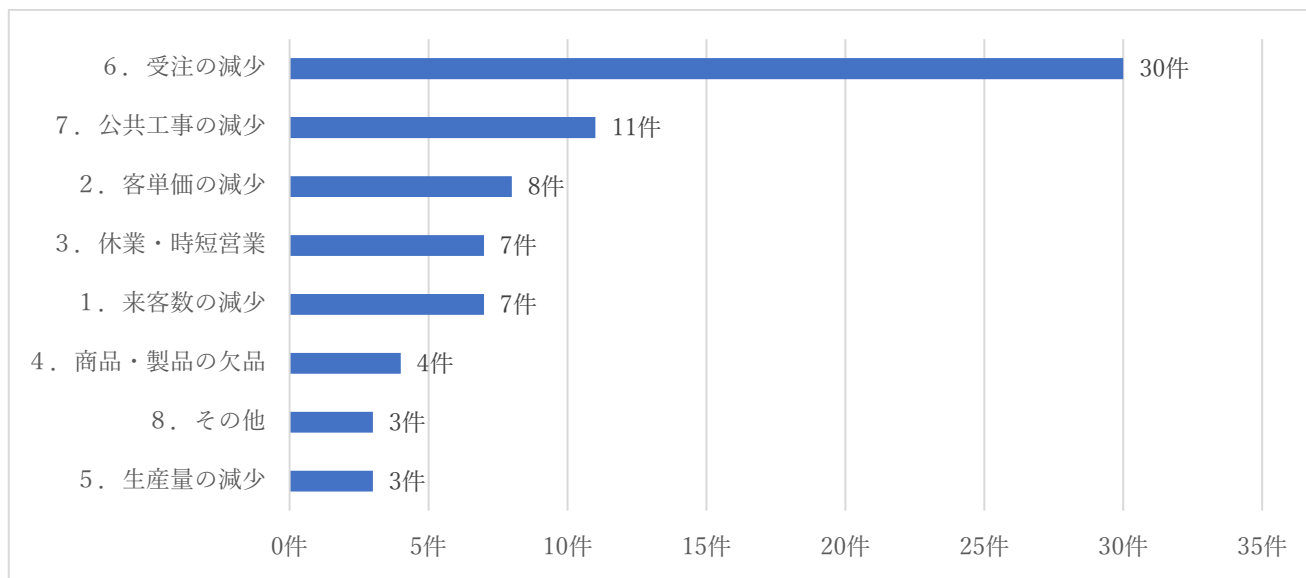
Q3 【Q1で「3」と回答した方へ】売上が横這いの要因について、該当する番号をすべてお選びください。【複数回答可】

1. 販売価格・数量や顧客数に変動が少ないため
2. 販売価格が減少したものの、販売数量が増加したため
3. 販売数量が減少したものの、価格転嫁により単価を見直したため
4. 客単価が減少したものの、販路を拡大したため
5. 販路が縮小したものの、高付加価値化をはかったため
6. その他



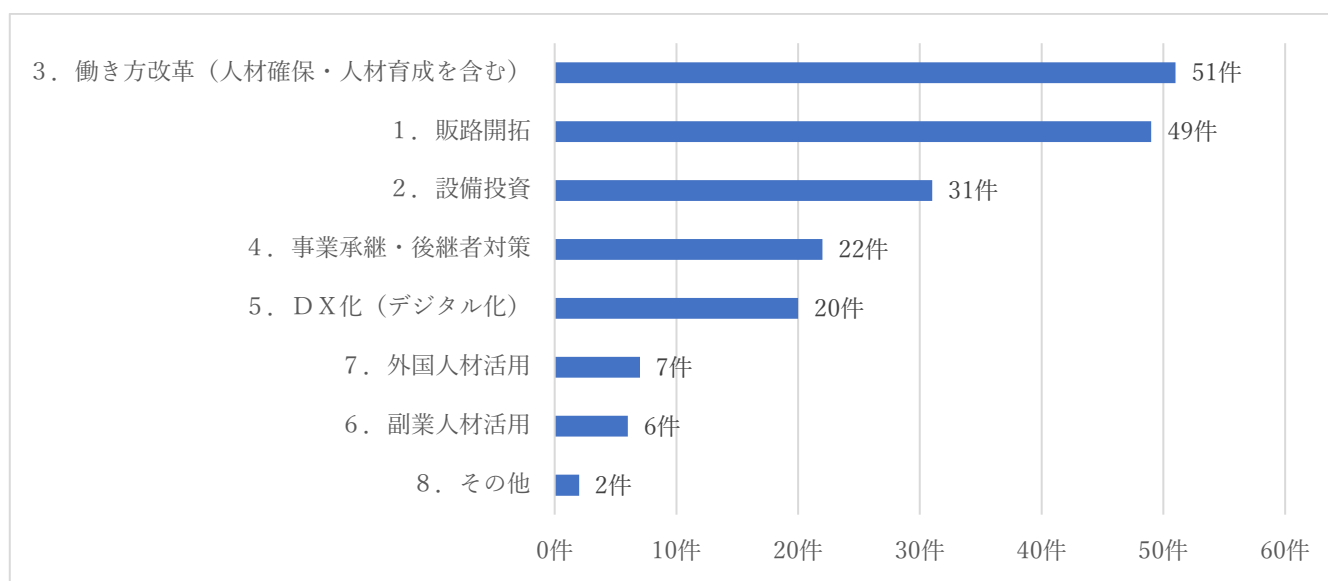
Q4 【Q1で「4」～「5」と回答した方へ】売上が減少した要因について、該当する番号をすべてお選びください。【複数回答可】

1. 来客数の減少
2. 客単価の減少
3. 休業・時短営業
4. 商品・製品の欠品
5. 生産量の減少
6. 受注の減少
7. 公共工事の減少
8. その他



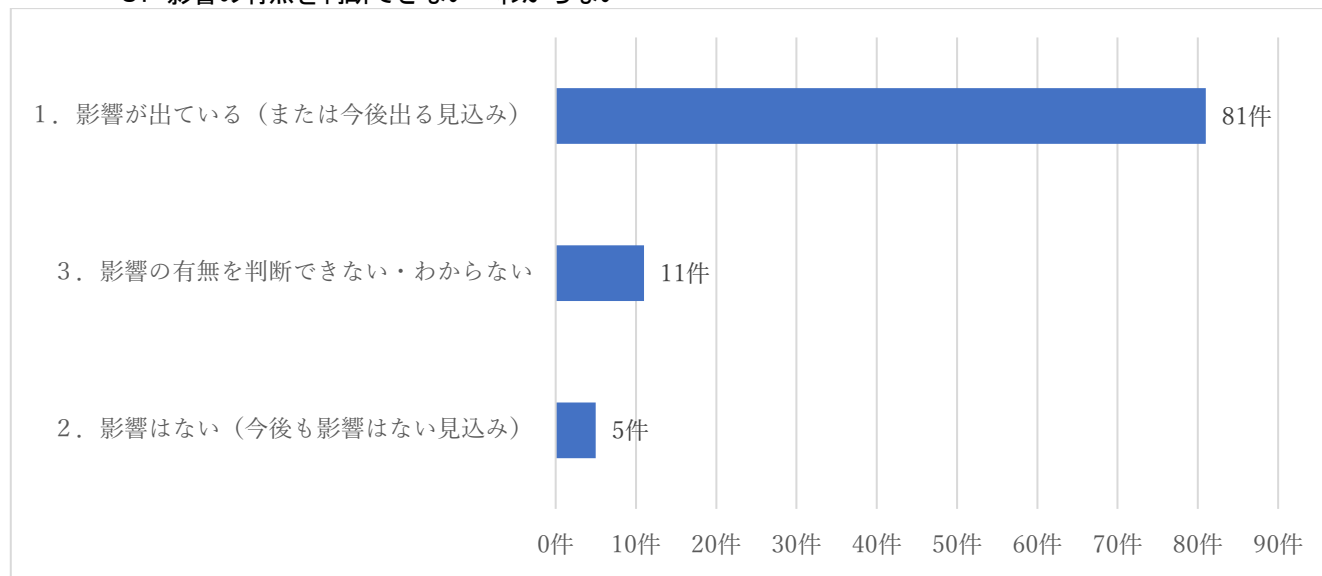
Q5 今後実施すべき取組みとして、該当する番号をすべてお選びください。【複数回答可】

1. 販路開拓
2. 設備投資
3. 働き方改革（人材確保・人材育成を含む）
4. 事業承継・後継者対策
5. DX化（デジタル化）
6. 副業人材活用
7. 外国人材活用
8. その他



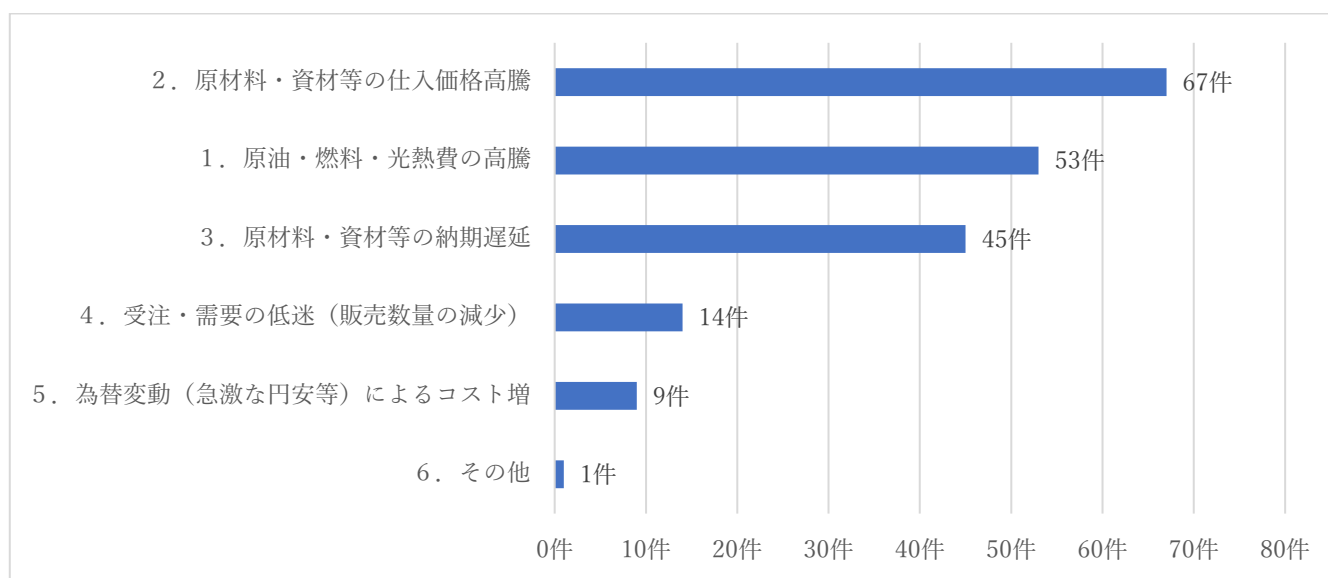
Q6-1 「中東情勢の緊迫化（原油・エネルギー価格の変動、物流遅延、供給網の乱れ等）」による貴事業所の経営への影響について、該当する番号を選択ください。

1. 影響が出ている（または今後出る見込み）
2. 影響はない（今後も影響はない見込み）
3. 影響の有無を判断できない・わからない



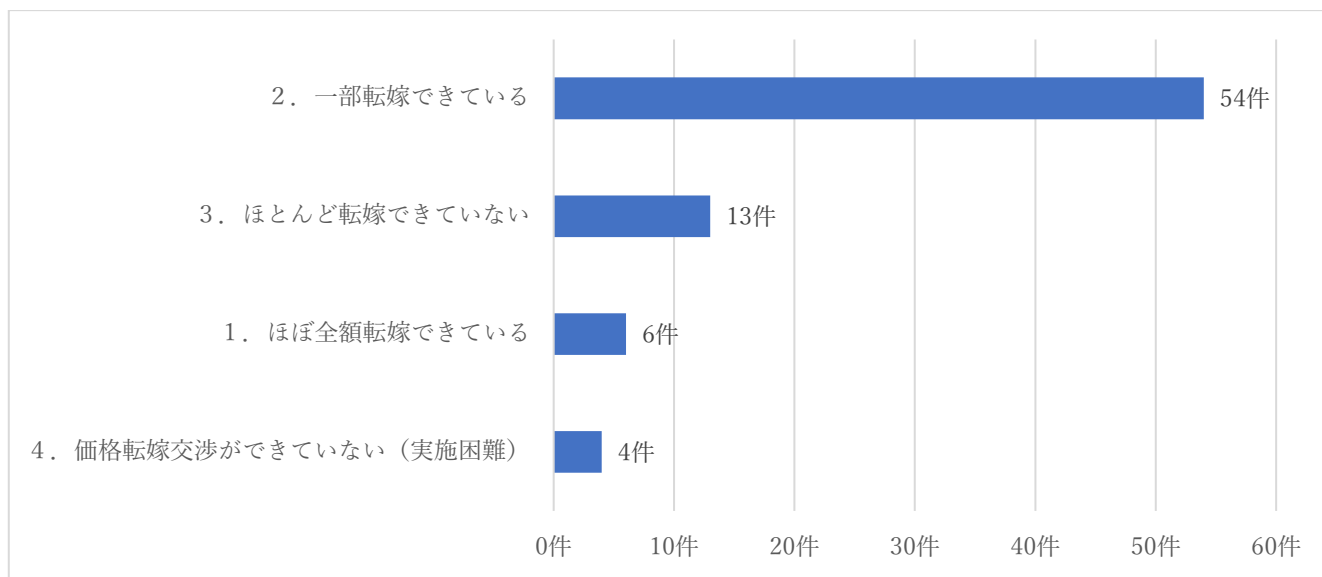
Q6-2 【Q6-1で「1」と回答した方】生じている（または懸念される）具体的な影響について、該当する番号をすべてお選びください。【複数回答可】

1. 原油・燃料・光熱費の高騰
2. 原材料・資材等の仕入価格高騰
3. 原材料・資材等の納期遅延
4. 受注・需要の低迷（販売数量の減少）
5. 為替変動（急激な円安等）によるコスト増
6. その他



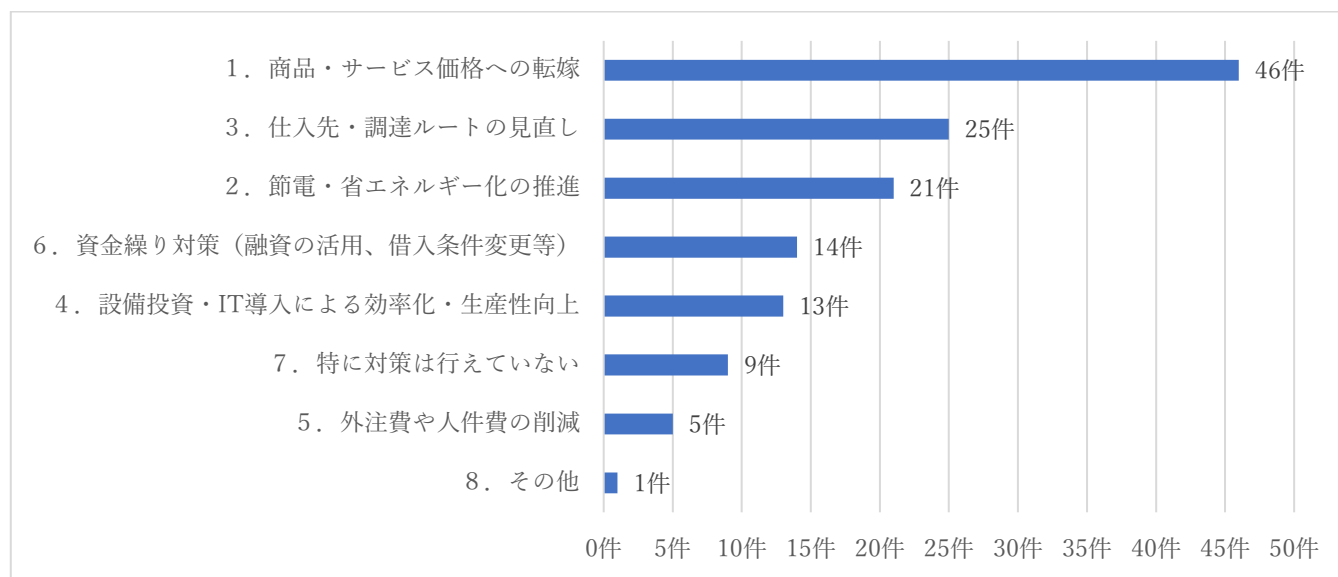
Q6-3 【Q6-1で「1」と回答した方】中東情勢の影響に伴うコスト増加等について、価格転嫁の実施状況はどのようになっているか、該当する番号をお選びください。

1. ほぼ全額転嫁できている
2. 一部転嫁できている
3. ほとんど転嫁できていない
4. 価格転嫁交渉ができていない（実施困難）



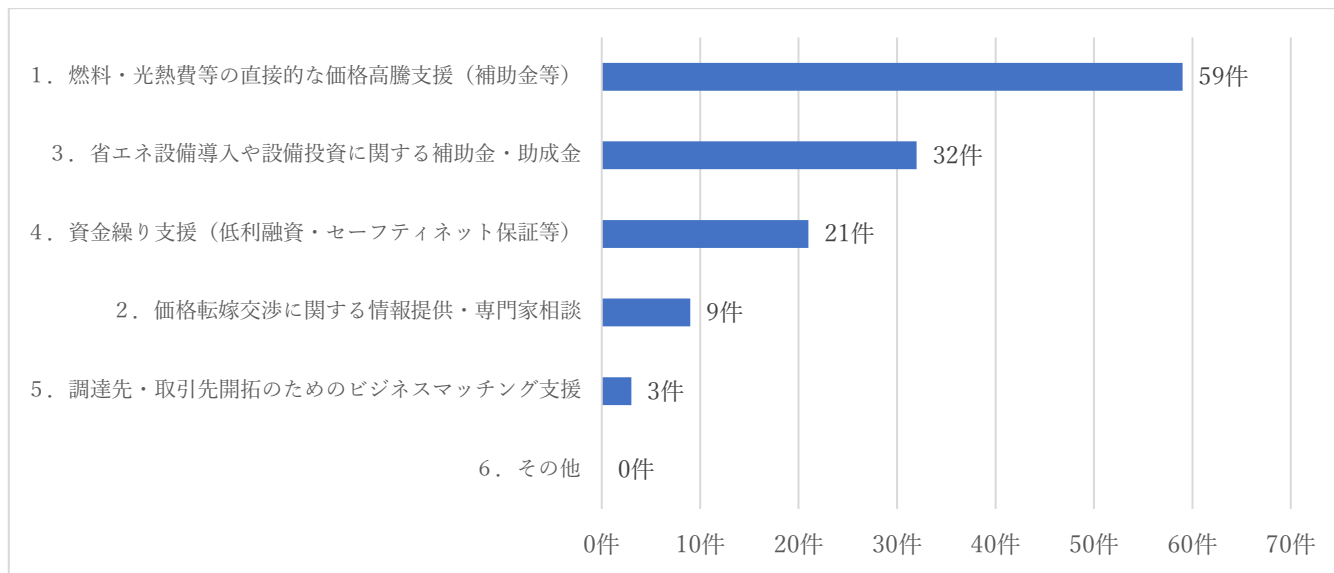
Q6-4 【Q6-1で「1」と回答した方】中東情勢の緊迫化に伴う影響に対し、貴事業所で取り組んでいる（または検討中の）対策について、該当する番号をすべてお選びください。【複数回答可】

1. 商品・サービス価格への転嫁
2. 節電・省エネルギー化の推進
3. 仕入先・調達ルートの見直し
4. 設備投資・IT導入による効率化・生産性向上
5. 外注費や人件費の削減
6. 資金繰り対策（融資の活用、借入条件変更等）
7. 特に対策は行っていない
8. その他



Q6-5 【Q6-1で「1」と回答した方】中東情勢緊迫化による影響を克服するために、国・自治体や商工団体等に期待する支援・要望について、該当する番号をすべてお選びください。【複数回答可】

1. 燃料・光熱費等の直接的な価格高騰支援（補助金等）
2. 価格転嫁交渉に関する情報提供・専門家相談
3. 省エネ設備導入や設備投資に関する補助金・助成金
4. 資金繰り支援（低利融資・セーフティネット保証等）
5. 調達先・取引先開拓のためのビジネスマッチング支援
6. その他



【回答内訳（業種別）】

業種	業種					従業員数					
	製	建	卸	小	観	5	10	20	50	100	101
製造業	25	0	0	0	0	6	2	3	7	4	3
建設業	0	27	0	0	0	5	9	3	6	3	1
卸売業	0	0	6	0	0	2	2	1	1	0	0
小売業	0	0	0	19	0	13	2	2	1	1	0
観光・サービス業	0	0	0	0	21	7	4	1	3	3	3
合計	25	27	6	19	21	33	19	10	18	11	7

業種	Q1 前年同月比売上について					Q2 売上増加要因（Q1 で 1～2 回答者）						
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
製造業	2	3	8	10	2	1	0	2	1	0	0	1
建設業	1	3	9	10	4	2	0	1	0	0	1	1
卸売業	0	1	1	4	0	0	0	1	0	0	1	0
小売業	0	3	9	5	2	2	0	1	1	0	2	0
観光・サービス業	1	7	8	5	0	4	0	3	0	0	4	1
合計	4	17	35	34	8	9	0	8	2	0	8	3

業種	Q3 売上横這い要因（Q1 で 3 回答者）						Q4 売上減少要因（Q1 で 4～6 回答者）							
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8
製造業	7	0	1	0	0	0	2	2	1	0	2	11	3	0
建設業	7	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	11	7	0
卸売業	1	1	1	0	0	0	1	1	2	1	0	2	1	2
小売業	3	1	6	0	1	1	2	3	2	0	0	3	0	1
観光・サービス業	5	0	3	0	0	0	2	2	1	0	1	3	0	0
合計	23	3	11	0	1	1	7	8	7	4	3	30	11	3

業種	Q5 経営見通し								Q6-1 中東情勢による影響の有無		
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3
製造業	13	7	13	4	5	0	2	0	21	0	3
建設業	9	7	17	7	5	1	1	0	22	1	4
卸売業	4	3	2	0	1	0	0	1	5	1	0
小売業	14	7	6	4	4	3	1	0	15	1	3
観光・サービス業	9	7	13	7	5	2	3	1	18	2	1
合計	49	31	51	22	20	6	7	2	81	5	11

業種	Q6-2 具体的な影響 (Q6-1 で 1 回答者)						Q6-3 価格転嫁の状況 (Q6-1 で 1 回答者)			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
製造業	12	16	9	5	4	0	1	13	3	2
建設業	16	18	17	4	1	0	3	18	1	0
卸売業	1	4	3	3	1	1	1	4	0	0
小売業	11	12	11	2	1	0	1	8	4	0
観光・サービス業	13	17	5	0	2	0	0	11	5	2
合計	53	67	45	14	9	1	6	54	13	4

業種	Q6-4 中東情勢による影響に対する取り組み (Q6-1 で 1 回答者)								Q6-5 期待する支援・要望 (Q6-1 で 1 回答者)					
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6
製造業	12	7	7	4	2	3	2	0	18	2	13	4	1	0
建設業	14	4	5	3	1	3	2	0	14	2	9	6	1	0
卸売業	2	0	1	1	0	1	1	1	3	0	1	3	0	0
小売業	9	4	8	4	0	4	1	0	9	3	4	6	1	0
観光・サービス業	9	6	4	1	2	3	3	0	15	2	5	2	0	0
合計	46	21	25	13	5	14	9	1	59	9	32	21	3	0